

令和3年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和4年3月28日

社会福祉法人宝国洗心会ほうこく保育園

1.本園の保育目標

一人ひとりの「今」がかがやく保育

- ・みほとけさまを拝む子ども
- ・ありがとうと言える子ども
- ・お話を聞ける子ども
- ・仲良くできる子ども

2.本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・職員間の情報共有をより綿密に行う。
- ・本園の建学の精神に基づく「ありがとうの気持ち」をはじめ情操的な心情をより子どもたちに伝えていく。
- ・年間計画に沿って行事などの教育課程の準備をできる限り早めに行う。
- ・それぞれの立場を理解し、協力し合いながら物事を進めていく。

3.施設関係者評価項目

| | 評価項目 | 自己評価 | 施設関係者評価 |
|----|--|------|---------|
| 1 | 設置者の建学の精神に基づき園が運営されているか | A | A |
| 2 | 園の状況を踏まえた教育・保育目標等が設定されているか | A | A |
| 3 | 園の教育課程の編成・実施の考え方について、教職員間の共通理解がなされているか | B | A |
| 4 | 幼保連携型認定こども園教育・保育要領について、個々の教職員が理解しているか | A | A |
| 5 | 指導計画の立案と実施が適切になされているか | A | A |
| 6 | 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に沿った乳幼児の発達に即した指導がなされているか | B | A |
| 7 | 乳幼児の病気やけが等の情報提供が行われているか | B | B |
| 8 | 日常の健康観察や疾病予防のための取組、健康診断が実施されているか | A | A |
| 9 | 避難訓練等を通して、教職員・園児の安全対応能力の向上を図るための取組がなされているか | A | A |
| 10 | 特別な支援が必要な幼児のための施設や学校の利用者との交流が図られているか | B | A |

| | 評価項目 | 自己評価 | 施設関係者評価 |
|----|--------------------------------|------|---------|
| 1 | 園と医療・福祉などの関係機関との連携がなされているか | A | A |
| 2 | 職員会議、ケース会議等が定期的に行われているか | A | A |
| 3 | 園内研修が定期的に行われているか | B | A |
| 4 | 園外研修に参加しているか | B | B |
| 5 | 自己研鑽による職員の資質の向上が図られているか | B | A |
| 6 | 自己評価が行われているか | A | A |
| 7 | 園に関する様々な情報提供（園便り、参観日等）が行われているか | A | A |
| 8 | 施設運営への保護者、地域住民の参画及び協力が行われているか | B | A |
| 9 | 子育ての支援（延長保育、一時預かり等）が行われているか | A | A |
| 10 | 遊具、玩具、絵本等が整備されているか | A | A |

A…十分達成されている、B…達成されている、C…どちらでもない、

D…取り組まれているが、成果が十分ではない、E…取組が不十分である

4.学校関係者評価

コロナ禍の生活の中で、できることが限られていたにもかかわらず、子どもたちに無理はせず、ありのままの子どもたちの姿を見ることができました。

先生方の子どもたちへの声かけや一人一人にあった接し方のおかげで、子どもたちが子どもらしく素直に過ごせる保育園だと思います。また、様々な学年のおともたちと過ごすことにより、子どもたちがお互いに助け合うことを覚え、体の成長だけでなく心の成長も見られました。

子どもが自ら「ありがとう」と言えるやさしい心を育てていきたいと思います。